

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン学科(昼間)	夜・通信	256 時数	160 時間	
	イラストレーション学科	夜・通信	256 時数	160 時間	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時間	
	ファッション学科	夜・通信	224 時数	160 時間	
	ゲーム・CG 学科	夜・通信	256 時数	160 時間	
	マンガ学科	夜・通信	576 時数	160 時間	
	フィギュアデザイン学科	夜・通信	256 時数	160 時間	
	総合デザイン	夜・通信	160 時数	160 時間	
	アニメーション学科	夜・通信	256 時数	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kdg.ac.jp/about/information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデミア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 https://www.kdg.ac.jp/about/information/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学教授（現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員会 終結時	ガバナンスの強化
非常勤	独立行政法人 プロジェクトリーダー （現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員会 終結時	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデミア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) カリキュラム会議にて学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成する。 各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当がシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。 作成時期：開始年度前年の11月末 公表時期：開始年度前年の12月中旬</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 https://www.kdg.ac.jp/about/information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。 判定結果は授業担当の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。評価が悪い学生には担任より指導、補講が行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=基準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 GPAポイント変換：A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(全教科の評価ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.kdg.ac.jp/about/information/

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <p>・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 https://www.kdg.ac.jp/about/information/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報をHPにて公表している https://www.kdg.ac.jp/about/information/
収支計算書又は損益計算書	最新情報をHPにて公表している https://www.kdg.ac.jp/about/information/
財産目録	最新情報をHPにて公表している https://www.kdg.ac.jp/about/information/
事業報告書	最新情報をHPにて公表している https://www.kdg.ac.jp/about/information/
監事による監査報告（書）	最新情報をHPにて公表している https://www.kdg.ac.jp/about/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	グラフィックデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	256 単位時間	2240 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2496 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		121人	3人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法 （概要） <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準 （概要） <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等 （概要） <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	0人 (0.0%)	33人 (78.5%)	9人 (21.4%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所、印刷会社など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110人	7人	6.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、就職の為、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	イラストレーション 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	80 単位時間	3824 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3904 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		119人	1人	4人	10人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要)
<p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法 (概要)
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換：A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準 (概要)
<p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等 (概要)
<p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77人 (100%)	0人 (0.0%)	65人 (84.4%)	12人 (15.5%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	9人	6.7%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	インテリアデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	384 単位時間	2432 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2816 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		29人	0人	2人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換: A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) 放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (86.3%)	3人 (13.6%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所、家具制作販売企業、住宅メーカー、建築業界など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	13人	28.8%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由、単位の取得が困難		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ファッション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	480 単位時間	3648 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4128 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		33人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
(概要) <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0.0%)	9人 (0.0%)	1人 (10.0%)
（主な就職、業界等） アパレル販売、縫製会社、アパレルメーカーなど			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	3人	10.3%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ゲーム・CG学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	320 単位時間	3648 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3968 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
110人	46人	3人	3人	4人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
(概要) <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (43.5%)	14人 (42.4%)
（主な就職、業界等） ゲーム制作会社、Web デザイン会社、プログラマーなど			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	4 人	6.0%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	マンガ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	80 単位時間	3824 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3904 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	109人	0人	5人	9人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
(概要) <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65人 (100%)	0人 (0.0%)	61人 (93.8%)	4人 (6.1%)
（主な就職、業界等） 漫画家デビュー、マンガ・アニメ・ウェブトゥーン業界、デザイン業界、			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
138人	22人	15.9%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由、単位の取得が困難、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	フィギュアデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	256 単位時間	2340 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2560 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	1人	2人	1人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時 1920 時数)を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
(概要) <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (92.3%)	1人 (7.6%)
（主な就職、業界等） フィギュア制作会社、造形・原型制作関係、デビュー(フリーランス)など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	4人	13.7%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、進路変更、単位の取得が困難		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	768 単位時間	19392 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			20160 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	24人	0人	3人	1人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
（概要） <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
（概要） <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (%)	11人 (91.6%)	1人 (8.3%)
（主な就職、業界等） デザイン業界全般、その他イラストレーション・CG・アニメーション映像業界など			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	2人	8.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、単位の取得が困難、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	アニメーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/ 120 単位	384 単位時間	2980 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3328 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		57人	3人	2人	2人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <p>年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>
成績評価の基準・方法
(概要) <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) <p>卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>
学修支援等
(概要) <p>放課後、作品制作などのアドバイスを担任が行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0.0%)	30人 (88.2%)	4人 (11.7%)
（主な就職、業界等） アニメ制作、企画、販売			
（就職指導内容） 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産学連携による企業とのコラボレーションを行い、自身のポートフォリオの精度を高める			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	8人	12.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
グラフィックデザイン学科	150,000 円	780,000 円	240,000 円	令和7年入学生より、 生徒納付金を変更しております。 左記記載金額は令和7年入学生の生 徒納付金であり、 それ以前の入学生の生徒納付金は下 記の通りです。 ・入学金 100,000 円 ・授業料 780,000 円 ・その他 239,000 円 そのほか、選考料 20,000 円 校友会費初年度 10,000 円 団体保険料 2,000 円 教材費(※学科によって異なる)
イラストレーション学科				
インテリアデザイン学科				
ファッション学科				
ゲーム・CG学科				
マンガ学科				
フィギュアデザイン学科				
総合デザイン学科				
アニメーション学科				
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/about/information/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>学校の理念・運営・教育活動・成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・コンプライアンス・社会貢献など主に10個の基準について、7名以上の評価委員と学校関係者で評価を行う。委員は、</p> <p>①企業団体関係者、企業経営者またはそれに準ずる者より1名、②公認会計士、税理士またはその他財務の専門家より1名、③学校卒業生より2名以上、④福岡市博多区の住民で責任的立場にある者より1名、⑤その他学校長が必要と認めた者から構成され、学校関係者評価委員会は年1回(8月頃)開催する。</p> <p>業界が求める人材像や必要とされる知識、技術など教育や就職指導に関する意見を交換し、評価を受けた後、評価が低い案件については学校長と学務責任者で確認し、学務会議での協議を通じて10月以降学務責任者指導の下、改善に向け取り組んでいく。</p> <p>《過去議題例》</p> <p>教育に関して：業界が求める学び/留学生制度/社会性の向上/修学支援の新制度/ 法人合併後の教育システム変更及びカリキュラム統一</p> <p>就職に関して：インターンシップの中身/卒業生の活躍状況把握/ 就職率向上から就職の質向上へのポイント(業界EXPO、進路EXPO)</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡県洋菓子協会	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界団体
税理士法人アーク・パートナーズ	2023年9月1日～ 2025年8月31日	会計士
株式会社 荻田商業建築デザイン事務所	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
オリエンタルホテル福岡	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
アミ・シュプール	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
株式会社映像ボックス	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
博多区博多駅前3丁目2区自治会	2023年9月1日～ 2025年8月31日	自治会長
博多女子高等学校	2023年9月1日～ 2025年8月31日	高等学校
株式会社 Too	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等
株式会社イクティス	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/about/information/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kdg.ac.jp/about/information/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄(合計欄を含む。)について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード(13桁)	H140313000109
学校名(〇〇大学等)	専門学校福岡デザイナー・アカデミー
設置者名(学校法人〇〇学園等)	学校法人21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等(内数) ※家計急変による者を除く。		136人(一)人	131人(一)人	141人(一)人
内 訳	第I区分	91人	91人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第II区分	25人	24人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第III区分	20人	16人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第IV区分(理工農)	0人	0人	
	第IV区分(多子世帯)	-	-	
区分外(多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者(年間)				0人(0)人
合計(年間)				141人(一)人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第I区分、第II区分、第III区分、第IV区分(理工農)とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が「廃止」の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	—	—
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	—	—
計	0人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	18人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	15人	18人
計	0人	15人	28人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。